

大草谷津田いきものの里 自然観察会

夏の谷津田はムシ天国 パート2

小川洋子（八千代市）

日 時：2019年8月4日（日）10:30～12:00 天候：晴れ

参加者：55名（大人27名、子ども28名）

担当指導員：金子美幸、小川洋子

連日の猛暑の中の観察会、どのくらい参加者が来てくださるか心配したが杞憂に終わった。開始1時間以上前から虫網を持った家族連れが集まってきた。中には東京からHPを見て来られた親子もいた。

暑いので観察路入口の日影で開始の挨拶、スズメバチやヘビなどの諸注意、捕った虫は観察したら放すという大草の約束を話してスタートした。林の中を長い列になって進み、最初に見つかったのはオオヒラタシデムシの成虫。この虫は森の掃除屋さん、大事な森の構成員だ。他に見られたのはクモやマメコガネくらい、暑さのせいか人数が多いせいか、あまり生き物は見当たらなかった。

林を抜けて谷津田へ出るとトンボが目についた。シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、稻田の上を悠然とパトロールするオニヤンマも見られた。子どもたちも懸命に網をふりトンボを追いかけ始め、アマガエルを捕まえた子もいた。谷津田のベンチに着いたところで、休憩と水飲みタイムをとった。一息入れたら虫捕りタイム再スタート。今回は30分をメドに自由に生き物を捕ってもらった。捕った生き物は用意したプラスチックのカップに入れベンチに持つて来てもらった。

自由時間に子どもたちは泥んこになりながら池に網を入れドジョウやサワガニ、ヤゴなどを次々に見つけた。服が汚れても叱る保護者はおらず皆さん楽しんでいた。芋掘りにも手袋使用が当たり前の昨今、池での生き物探しは子どもにとって貴重な体験になつたのではと思った。

予定の30分が過ぎ全員ベンチ脇に集合、見つかった生き物についての説明をした。大きなニホンアカガエルは千葉県では最重要保護生物に指定されているが、ここ大草にはたくさんいること、その一方特定外来生物に指定されているアカボシゴマダラも捕られ、大草でも増えてきていることをお話しした。そのほかトンボ類、バッタ類はもとより水生生物のドジョウ、サワガニ、アメリカザリガニやヤゴ、オタマジャクシなど多彩な生き物が見つかり、大草の豊かさを実感してもらえた。

参加指導員：遠藤登志子 岡田敬子 木下順次 芳我めぐみ 萩 将勝



虫を捕まえた！ 池の生き物を捕まえよう